

観察の眼 「武庫川溪谷（西宮名塩～武田尾）冬季の自然観察会」

～旧福知山線廃線跡をたどり溪谷の景観と厳冬期の樹木たちの生き様を観察～

実施日：2019年1月25日

記録：4班 上山富美代



スギ（ヒノキ科） ・紅葉



マユミ（ニシキギ科）
・果実



クスノキ（クスノキ科）
西宮市保存木100号
20m高 3.82m幹周り



スイカズラ（スイカズラ科）
・別名：ニンドウ（忍冬）
・寒さ対策…葉が赤く色づき丸くたたみ込む

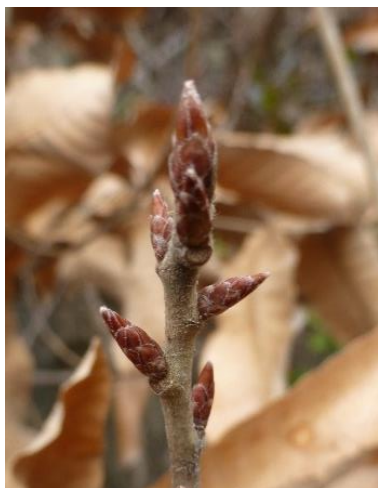
アオツツラフジ（ツツラフジ科） ・果実



ナンテン（メギ科）
・葉…陽のあたる面が冬の紅葉（アントシアニンの生成）により黒赤色化、裏面は緑色



ヌルデ（ウルシ科）
・冬芽…半球形 ・葉痕…U字型
・黄褐色の軟毛が密に生えるため芽鱗は見えない



クヌギ（ブナ科）
・冬芽…水滴型
芽鱗は多数重なる短毛が密生



テイカカズラ（キョウチクトウ科）
・莢が弾けて冠毛をつけた種子が出る



イブキシモツケ（バラ科）
・有馬層群の岩の上に生える



ヤマザクラ（バラ科）
・冬芽…毛なし



マツバラン（マツバラン科）
・シダ植物
・茎のみで分枝し稜がある
・兵庫県のレッド データ リスト
（絶滅危惧種）Bランク



アラカシ（ブナ科）
・冬芽…赤色と緑色がある



サルトリイバラ（サルトリイバラ科）
・果実



ネムノキ（マメ科）
・皮目…円形
・枝先ほど強く屈曲し細くなる



ワラビ（コバノイシカグマ科）



ジャケツイバラ（マメ科）
・枝…下向きの刺がつく
・果実…弾けた莢に種子が少し残っている



キブシ（キブシ科）
・花芽…花穂は3～10cmと長い



ナツフジ（マメ科）
・果実



ホソバタブ (クスノキ科)

- ・冬芽…枝先には一個、赤みを帯び芽鱗の縁に白い微毛
- ・枝先に土用芽の枯れたシュートが黒く残る



シロダモ (クスノキ科)

- ・冬芽…細毛密生
- ・果実残る



カゴノキ (クスノキ科)

- ・冬芽…細長い



タブノキ (クスノキ科)

- ・冬芽…大きく赤みを帯び芽鱗の縁に金色の毛あり



ナナミノキ (モチノキ科)

- ・冬芽…円錐形で紅紫色
- 芽鱗は2～3枚



クリ (ブナ科)

- ・冬芽…おむすび型でクリの実に似る
- 無毛
- ・葉痕…半円形
- ・虫こぶ…クリタマバチが寄生したクリメコブズイフシ



クマノミズキ (ミズキ科)

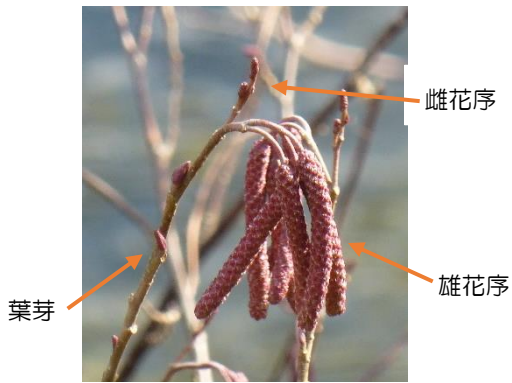
- ・枝先が赤い
- ・冬芽…裸芽で黒っぽい短毛が密生
- ・頂芽…筆ペンの先に似る
- ・葉痕…半円形で隆起する



フユザンショウ (ミカン科)

- ・葉…奇数羽状複葉で葉軸に翼がある
- ・刺…対生で基部が膨らむ





カワラハンノキ (カバノキ科)



ニシキギ (ニシキギ科)

- ・別名：コマユミ
- ・冬芽…水滴型
- ・枝…緑色で十字対生
一年枝に4稜あり



ニシキギ (ニシキギ科)

- ・翼が発達している



ヤマイバラ (バラ科)



リョウブ (リョウブ科)

- ・冬芽…2枚の芽鱗が落ちて
裸芽になる
(ナポレオン ハット)



ボタンツル
(キンボウゲ科)

- ・瘦果…細い綿毛つく



タニウツギ (スイカズラ科)

- ・果実殻
- ・茎…髓があり空洞でない



ウツギ (アジサイ科)

- ・茎…空洞



ミツバウツギ (ミツバウツギ科)

- ・冬芽…枝先に2個並ぶ仮頂芽



アブラチャン (クスノキ科)

- ・冬芽…葉芽は長い水滴型
花芽は葉芽のそばにつき
球形で柄がある



ヤマコウバシ (クスノキ科)

- ・冬芽…大きい混芽 芽鱗は6枚前後
- ・枯葉は冬も残る





モモ (バラ科)

- ・冬芽…灰白色の毛に覆われる



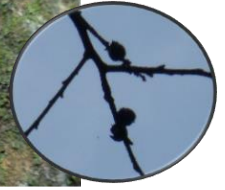
タラノキ (ウコギ科)

- ・枝…太く鋭い刺あり
- ・葉痕…V字型～U字型



リュウキュウマメガキ (カキノキ科)

- ・樹皮…若木は平滑、次第に縦横に浅裂
- ・高木で、果実がついていた



イヌザクラ (バラ科)

- ・樹皮…サクラに似るが白く平滑
- ・冬芽…紅紫色で艶あり、無毛
- ・葉痕…半円型～腎型



ヤブムラサキ (シソ科)

- ・冬芽…裸芽で2枚の葉が向き合い、星状毛が密生する (ムラサキシキブより全体に毛が多い)



ダンコウバイ (クスノキ科)

- ・冬芽…葉芽は水滴型で赤みを帯び、芽鱗が3～4枚
- 花芽は無柄の球形



イロハモミジ (ムクロジ科)

- ・冬芽…水滴型で赤くつやがある
- 枝先に仮頂芽が2個並ぶ



オニグルミ (クルミ科)

- ・冬芽…頂芽(葉芽)は大きく裸芽で円錐形
- 褐色の短毛が密生
- ・葉痕…かわいい羊顔(維管束痕は3か所に集まり目と鼻に見える)
- ・幹…縦に大きく割れ目が入る



キササゲ（ノウゼンカズラ科）

- ・果実…細長い
- ・冬芽…先端が開きバラのように見える
- ・葉痕…丸く維管束痕も円状につく



ヤマブキ（バラ科）

- ・冬芽…赤褐色で水滴型
- ・枝…緑色で段々に細くなる
葉痕の両側から稜が出る



ヤブツバキ（ツバキ科）

- ・花…平開せず雄しべの基部は筒状



リンボク（バラ科）

- ・果実…赤づき残る



フジ（マメ科）

- ・冬芽…暗赤褐色で三角型、枝に伏す
花芽か葉芽はわかりづらい



ヤブサンザシ（スグリ科）

- ・展葉が早い



ケケンバナシ

（クロウメモドキ科）

- ・果実…肥大した果柄が食用になる



ヒメコウソ（クワ科）

- ・枝…1年枝はジグザグに曲がる
- ・冬芽…葉痕の上に丸みのある三角型（おにぎり状）



コクサギ（ミカン科）

- ・冬芽…2個ずつ互生（コクサギ型葉序）
水滴型で芽鱗は多数が
縁は白くきれい（三大美芽）



クワ (クワ科)
・冬芽



ツルコウゾ (クワ科)
・冬芽…突き出た葉痕の上に三角型



ガマズミ (レンブクソウ科)
・冬芽…卵型で先は尖る
赤みを帯び短毛が密生



マルバアオダモ (モクセイ科)
・冬芽…頂芽は四角錐型で淡い青紫色
芽鱗は粉状毛に覆われる



ツルマサキ (ニシキギ科)



ツルグミ (グミ科)



ケヤキ (ニレ科)
・樹肌がサクラとそっくり



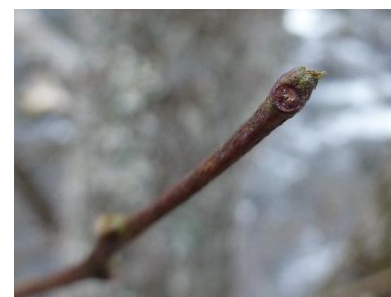
クロモジ (クスノキ科)
・武田尾には少なく唯一のもの
・冬芽…葉芽は水滴状で赤くつやがある
花芽は葉芽の横につきたまねぎ型で柄がある 2～4個着く



アオキ (アオキ科)
・冬芽…混芽



アカメガシワ (トウダイグサ科)
・冬芽…裸芽で星状毛が密生し、
葉脈のしわが見える
・葉痕…円形で隆起する



ヨコグラノキ
(クロウメモドキ科)
・冬芽…極小



イタヤカエデ（ムクロジ科）

- ・冬芽…卵型で先はやや尖る
頂芽の横に頂生側芽を伴う
十字対生
- ・葉痕…V字型



オオイタヤカエデ（ムクロジ科）

- ・園芸種



ニガキ（ニガキ科）

- ・冬芽…頂芽は大きく幼葉が巻いて丸い（握りこぶし型）
側芽は小さい



ツメレンゲ（ベンケイソウ科）

- ・崖などに生息 新古が並ぶ

流紋岩類からなる有馬層群を見ながら…



講座岩：本溪谷で最大の岩



溝滝

廃線跡をたどりトンネルをぬけると…



春の準備を始めている樹木たちの優しい色合いが目に入る

